

# 認証の全体像

基準保有団体



- ・基準の制定
- ・システムの構築
- ・基準の運用

承認



認定機関

審査・認定



第三者認証機関

審査・認証



受審者/認証取得者



信頼



消費者

- ・受審組織の運用が基準に準拠しているか審査(適合性の審査が役割)
- ※運用方法を説明する機関ではありません。

- ・認証機関に審査を行うに足る能力があるか審査を行う

# RSPO SCC 認証



## RSPO SCC とは

SCC= Supply Chain Certification サプライチェーン認証

RSPOパーム油の流通を適切に管理し、トレーサビリティの機能を提供するためのシステム。

認定を受けた第三者認証機関が審査・認証することにより、購買活動を円滑に進めることが期待される。

### 認証取得対象者

- ・ パーム油ミル(独立したミルのみ)
- ・ 加工業者(タンク等の設備も含む)
- ・ 最終製品製造者
- ・ ミルと最終製品製造者間においてRSPO認証パーム油の所有権を得る企業(トレーダー)

# 認証システムの種類

Identity Preserved (IP)

Segregation (SG)

Mass Balance (MB)

Book and Claim (BC)

## 認証タイプ

- Single site (シングルサイト)

(例) 単独拠点



工場



外部委託先

保管業者



輸送業者

- Multiple sites (マルチサイト)

(例) 複数拠点



本社



A工場



B工場

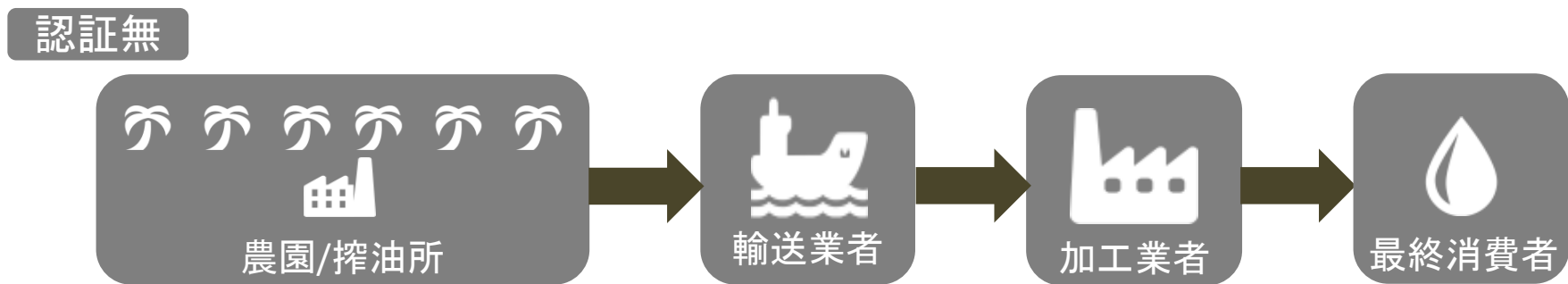
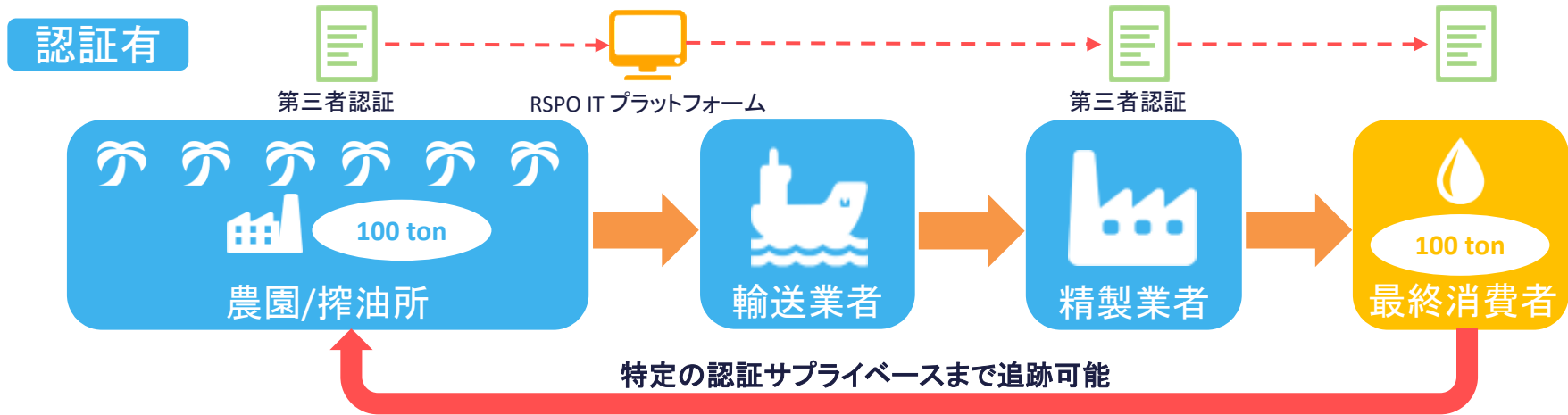


外部委託先

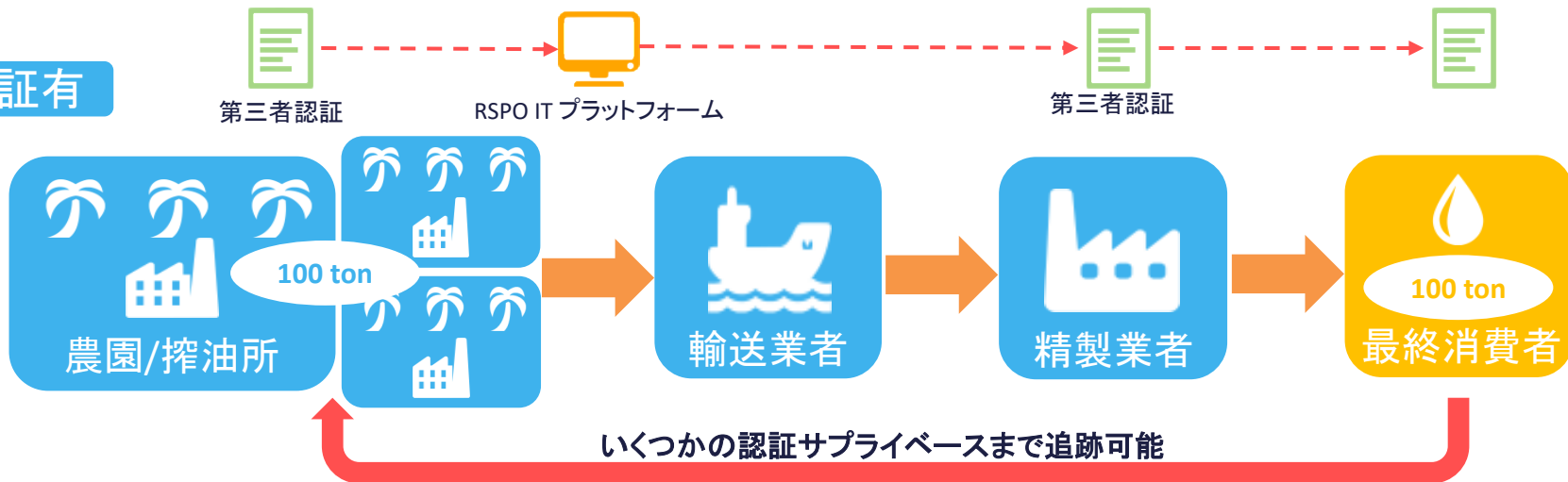
保管業者



輸送業者

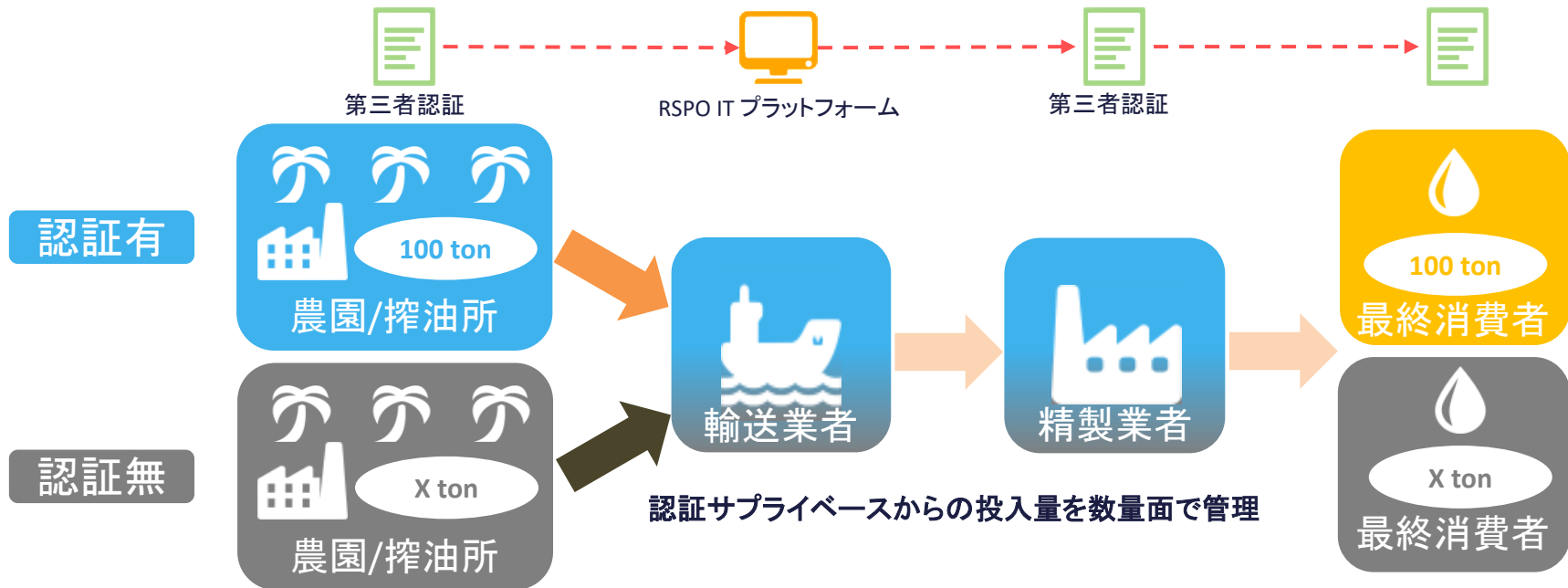


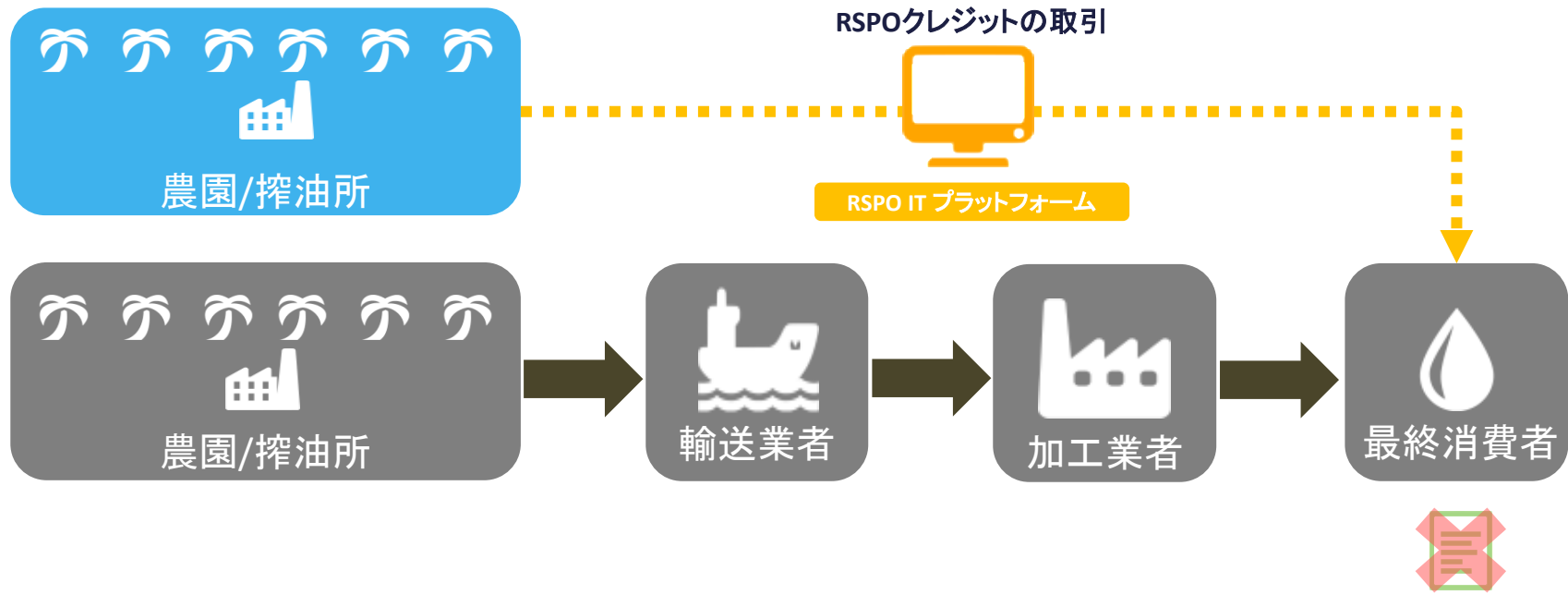
認証有



認証無









# 商標使用について

商標使用にあたっては、MyRSPOポータルサイトより商標ライセンスを取得し、「RSPOマーケットコミュニケーションと主張に関する規則(RSPO Rules on market communications & claims)」に則る必要があります。

## IP・SG 製品ラベル例

- ・IPの場合、95%以上がIP認証を受けていること
- ・SGの場合、95%以上がSGあるいはSGとIPの混合であること



## MB製品ラベル例

製品ラベル例(95%以上のMB認証原料を含む場合)



製品ラベル例(50%以上のMB認証原料を含む場合)



## 商標使用について

商標使用にあたっては、MyRSPOポータルサイトより商標ライセンスを取得し、「RSPOマーケットコミュニケーションと主張に関する規則(RSPO Rules on market communications & claims)」に則る必要があります。

### Credit製品ラベル例

- ・RSPO クレジットを購入するRSPOメンバーが、認証パーム油の生産を支援する旨を主張することができる
- ・製品上に使用する場合は、下記例の“CREDIT”と記載されたラベルのみ使用可能
- ・パーム油由来の成分の100%が、RSPOクレジットあるいは実際に認証を受けた原料でなければならない



# 認証取得までの流れ

## ① 範囲の決定

- 認証範囲やカテゴリーを決め、認証機関から見積書を提出する。

## ② 審査準備

- 手順書等の策定、外部委託先の教育、同意書の締結、記録の保管など基準書で要求されていることを満たすために必要な準備を行う。

## ③ 内部監査/マネジメントレビュー

- 準備したオペレーションと手順書等が要求事項に合致しているかを確認し、マネジメントによるレビューを行う。

## ④ 審査

- 実際の審査は基準書に照らし合わせて、現場審査、インタビュー、ドキュメントチェックを行う。不適合が出た場合、是正証拠を提出し、クローズする。

## ⑤ 認証書発行

- 認証発行時点から、オペレーションを開始できる。

## ⑥ 年次監査

- 年に一度審査を受ける。

## <会員登録>

RSPO Website Membership Application

<https://rspo.org/members/apply>

RSPO Contact Information For Membership

[membership@rspo.org](mailto:membership@rspo.org)

※RSPOへの会員登録は、直接の窓口がRSPO(マレーシア)となります。

## ① 範囲の決定

- 認証範囲やカテゴリを決め、認証機関から見積書を入手する。

### フロー図作成

フロー図作成 認証範囲(関連拠点、製品)確定のため、フロー図を作成します。

### 認証システムの決定

サプライヤー及び自社の状況から判断し、IP、SG、MBのうちどのサプライチェーンモデルを選択するか、またシングルサイト、マルチサイト等のうちどの認証タイプにて申請するかを決定します。

### 見積書の入手

認証機関が指定する見積依頼書を提出し、見積書を入手します。本内容に同意することで、契約書、請求書が発行されます。

## ② 審査準備

- マニュアルの策定、外部委託先の教育、同意書の締結、記録の保管など基準書で要求されていることを満たすために必要な準備を行う。

### マニュアル作成

業務を整理し、RSPO認証材をどのように管理していくのかを明文化していく作業です。また、必要に応じ、伝票、帳票類も変更または新規作成する必要があります。

### 教育

社内、各拠点、外部委託先に対して、上記のマニュアルを基に正しくRSPO認証材を管理できるよう教育が必要です。

## <参考資料>

RSPO Documents (基準書)

[https://rspo.org/library/lib\\_files/preview/1045](https://rspo.org/library/lib_files/preview/1045) (英語)

[https://rspo.org/library/lib\\_files/preview/1192](https://rspo.org/library/lib_files/preview/1192) (日本語)

RSPO Supply Chain Certification Standard 2020 Checklist (審査事項チェックリスト)

[https://rspo.org/library/lib\\_files/preview/1426](https://rspo.org/library/lib_files/preview/1426)

RSPO Rules on market communications & claims (概要説明及び主張に関する規則)

<https://rspo.org/wp-content/uploads/RSPO-Rules-on-Market-Communications-Claims-2022.pdf>

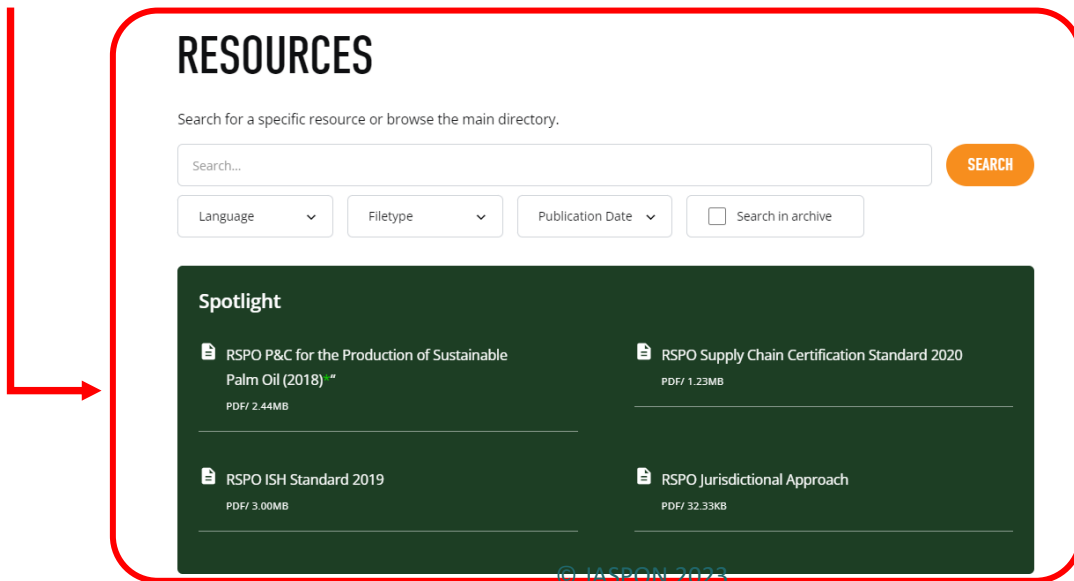
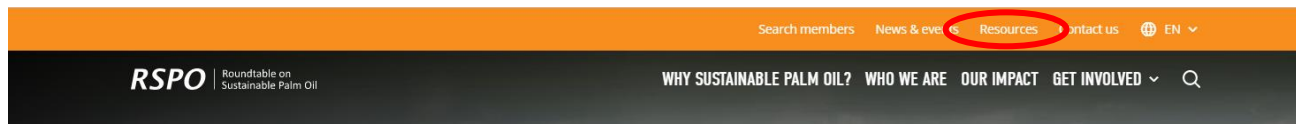
## <JaSPON 持続可能なパーム油ネットワーク>

日本市場における持続可能なパーム油の調達と消費加速のため設立された  
RSPO認証取得関係団体(任意加盟)

<https://jaspon.jp/>

## <資料検索方法>

### RSPO Website





## ③ 内部監査/マネジメントレビュー

- 準備したオペレーションとマニュアルが要求事項に合致しているかを確認し、マネジメントによるレビューを行う。

### 内部監査

作成されたマニュアルに沿った運用を実施可能か(初回)、または実施されているか確認します。

### マネジメントレビュー

経営者(あるいは部門のトップ)は請け負っている業務の実態と規模に対して適切に計画された間隔でレビューを行います。

### 本審査日程調整・審査員決定

審査準備の目途が立ち次第、認証機関が審査日を決定します。担当審査員へ審査日の2週間前までにマニュアルを提出します。

## ④ 審査

•実際の審査は基準書に照らし合わせて、現場審査、インタビュー、ドキュメントチェックを行う。不適合が出た場合、是正の証拠を提出し、クローズする。

### 審査方法

文書審査、生産現場などの訪問、インタビュー、情報の照合確認等

### 審査時の共通チェック項目

運用マニュアル

原材料の管理記録(現物・伝票)

製品の管理(ラベル・伝票)

記録作成・保管(購入・販売記録等)

教育(計画書・記録)

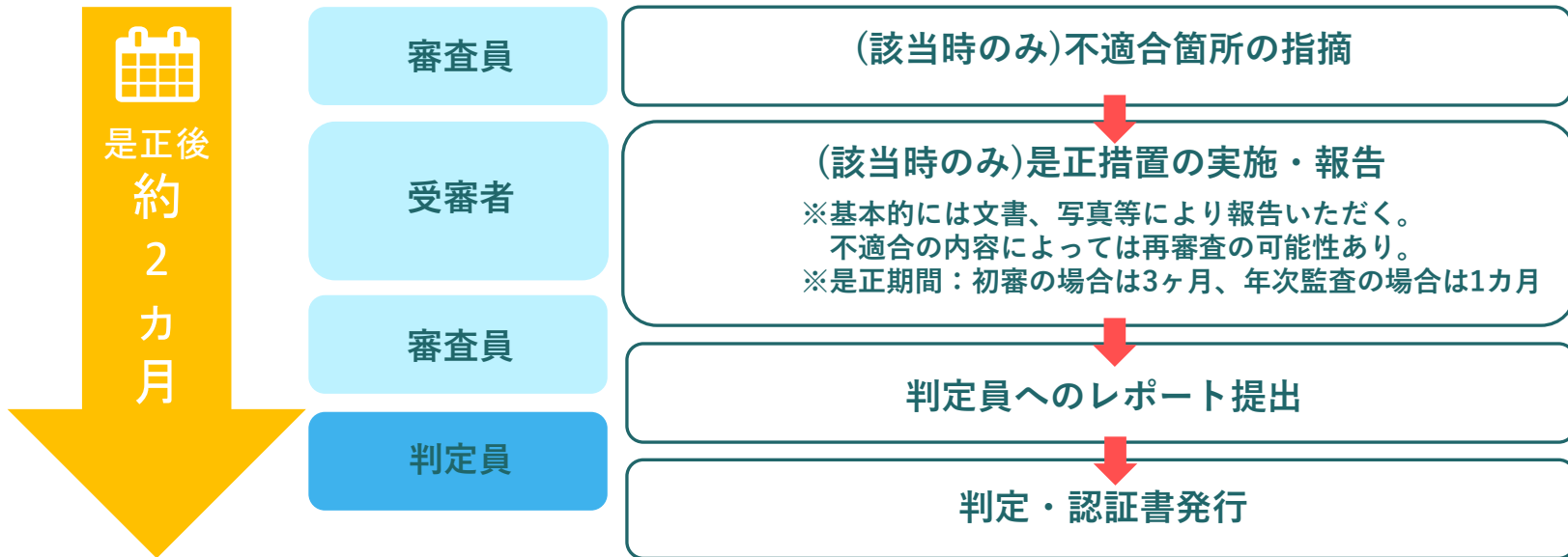
# 認証取得までの流れ

## ④ 審査

- 実際の審査は基準書に照らし合わせて、現場審査、インタビュー、ドキュメントチェックを行う。不適合が出た場合、是正証拠を提出し、クローズする。

## ⑤ 認証書発行

- 年に一度審査を受ける。



## 認証を取得してからも管理は続きます

### マニュアルに基づく運用・管理・記録

マニュアルで規定した通りに実施する必要があります。  
実際に運用してみて不適合がある場合は、マニュアルを修正する必要があります。

### ラベルの使用管理

ラベルの使用履歴については必ず記録を残す必要があります。

### 教育

RSPO認証に関わる従業員、外部委託先に対し継続した教育を行う必要があります。  
異動や外部委託先の変更に合わせて必要な教育を行い、記録を残します。

### 年次監査

RSPO認証を継続するためには、年に1回以上監査を受ける必要があります。  
監査受審のために、マニュアルの見直し、記録の管理、内部監査等を行います。